

節約は美德なり

日本再起の好機

火元はどこだ。何が原因だ。とセンサクする前に、いまず下で燃えさかっている火を消そう。

インフレで物価が異常に高くなって困っているところに、天から降ってきたように、石油危機、われわれはこれをどう切りぬけてゆかか、とまどっている。今回はそれを中心として考えてみたい。

節約して貯金

貯金の利率より物価の値上がりの方が高いから、ダイヤや書画な

と買っておいたが有利との考え方がある。しかし、それらの物価、二三百万円買ったところで市場価値がないので、庶民には向いていない。売るときはそれ以上で買ってくれるかどうか、あやしいものである。

節約は美德である。消費は国の発展になるから、なるべく修繕したり洗濯したりしないで使いつけてなさい。消費を美德とよめるわけである。

1、現在あるもの余分に買わない
2、必要以上に買わない
3、また使えぬものは捨てない
こうして浮いた金は、貯金に!

それ以上、自分ではおもしろいと思つてのことであるが、おもしろくない人もあろうから、切りもよいので止めさせてもらつことにした。

終りに当って筆者伊藤信夫氏が貴重な原稿をお貸し下さったことに厚く感謝し、ご愛読いただいた方々にもお礼申し上げます。

私はいつも、津奈木のもの、積極性、進取性がなく、逆にいへば人の後からついてゆく人が多

少されたが、東南アジアの旅行を敢行した勇氣は称賛されてよいと思つている。

初一念をいかにして実現したかの過程と、つきに開発途上の住民がいかにみじめに生きているかを紹介し、その中から日本の有難さを汲みとってもらふ資料にと、筆をいとおすのせた。読者よ、私の意図をよとせられたい。

岡松 壮

東南アジア旅行記を終るにあたって

おもしろいまま、どこをカットするといふこともできず、先きはかり見て、後は見なかつた。たま

れ以来十回、自分ではおもしろいと思つてのことであるが、おもしろくない人もあろうから、切りもよいので止めさせてもらつことにした。

終りに当って筆者伊藤信夫氏が貴重な原稿をお貸し下さったことに厚く感謝し、ご愛読いただいた方々にもお礼申し上げます。

私はいつも、津奈木のもの、積極性、進取性がなく、逆にいへば人の後からついてゆく人が多

少されたが、東南アジアの旅行を敢行した勇氣は称賛されてよいと思つている。

初一念をいかにして実現したかの過程と、つきに開発途上の住民がいかにみじめに生きているかを紹介し、その中から日本の有難さを汲みとってもらふ資料にと、筆をいとおすのせた。読者よ、私の意図をよとせられたい。

岡松 壮

昭和49年 1月成人おめでとう



津南中学校の剣道クラブは、日頃から日野忠延、六段教士の指導の下に練習を続けていたが、去る十二月九日、熊本市で行われた昇段試験に九名のクラブ員が受験したが、見事全員合格という県下でも稀に見る好成績を得た。

主張

森林の価値観は変った

組合長 岡本 秋徳

森林が人間に果してくれるはたらきは、いづつもありますが、もともと期待しているのは、木材をつくり出して、はたらくで

とこそが今日、急速な工業化、それにともない拡大する都市化の波は、公害という罪悪感をまきちらすようになり、また、森林の公

益的なたらきについて強く求められるようになり、従来の経済的効用よりむしろ公益的機能の面から森林(みどり)に対する関心と価値観が大幅に変つてきました。

この日本人すべての老大な共有財産づくりに幾百年來、また今日も貢献しているのは、みどりを愛し、黙々と樹木をばくくみ育ててきた林業人であり、岐阜県の本宮三川森林公社では、上流の森林でつくられる水の恩恵の代償として下流の需要者である愛知県と名古屋市から、造林費用を負担させている事例もあるように、林業には国・地方公共団体を問わず恩恵をうけるすべてのものから感謝の充分の助成がなされなければならぬ、その補助は、造林のため

に、十年毎とか、それに近い間隔に、国民が心を引きしめた何かがある。維新以後の日本がそうである。豊臣秀吉の朝鮮征伐でさえ、大名のだらけ切つていた心をたたき直すための計画であったという人さである。

たまく昭和元祿のさ中にインフレ、石油危機が起きた。困難といわれるほどの大難がきた。これはまさしく天の配剤といつてよく素直にうけてこれを乗り切つてゆこう。

節約は美德である。消費は国の発展になるから、なるべく修繕したり洗濯したりしないで使いつけてなさい。消費を美德とよめるわけである。

名言金言

名言は人生に對して不思議な力をもつ。ある時は人を教へ導き、ある時は人を励まし慰める。

剣道有段者増える

津南中 剣道部

【初段合格者】
三年石田勝賢、二年浜本賢一、全

【既に昨年、初段に合格している者】
三年浜本和広、全荒木太、全浜田

【高校の部で津南中出身の買四郎、全川崎智彦
初段に合格】
芦北高一年千々岩輝子、全吉野由美子、全今田すま子

【既に昨年、初段に合格している者】
三年浜本和広、全荒木太、全浜田買四郎、全川崎智彦
初段に合格】
芦北高一年千々岩輝子、全吉野由美子、全今田すま子

【既に昨年、初段に合格している者】
三年浜本和広、全荒木太、全浜田買四郎、全川崎智彦
初段に合格】
芦北高一年千々岩輝子、全吉野由美子、全今田すま子

郷土史あれこれ

高山彦九郎日記 津奈木滞在記

高山彦九郎とは、京の三条の橋の上はるかに屋敷を伏しおがみ、落つる涙は霞渡の水」といへば、な

高山彦九郎とは、京の三条の橋の上はるかに屋敷を伏しおがみ、落つる涙は霞渡の水」といへば、な

三太郎駅伝

昭和四十九年一月十三日(日)快晴。恒例の三太郎駅伝が行なわれ、津奈木、水俣の市外にオープン参加五チームを加えて計二十チームが早春の三太郎に

津奈木チームは、津奈木、水俣の市外にオープン参加五チームを加えて計二十チームが早春の三太郎に

津奈木チームは、津奈木、水俣の市外にオープン参加五チームを加えて計二十チームが早春の三太郎に

津奈木チームは、津奈木、水俣の市外にオープン参加五チームを加えて計二十チームが早春の三太郎に

肥後狂句

順不同 心配無用耐乏生活してきた // ロソクつけてもへこたれん // 毎日食うてもきんなん // 気配無用油なしでん生きたるる // 心配無用後は俺が引き受けた // 心配無用は父ちゃん // 心配無用は女は多エもん // 気配無用が君の奥さんか // 気配無用は静かなる // 敬功

堀双岳選

双岳 心配無用打つては手ヤント打つて // 心配無用今日の会費は会社持ち // 気配無用先いきやもった // 健男

津小物語

本校の古ぼけた学校沿革史をみると、明治八年十月「明治八年十月津奈木村中村の旧会所跡に中村学校として創立」とあり、これが九十八年にわたる今日まで輝やかしい歩みが続いている津奈木小学校の誕生である。